



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第107号 R5.12.18

大阪府中学校生徒会サミット テーマ「生徒会ってなあに？」

11月11日(土)に、大阪府内の各市町村の生徒会代表による「大阪府中学校生徒会サミット」が開催されました。今年の生徒会サミットも府議会議場とリモートの併用での開催でした。豊能町からは吉川中学校の生徒会役員2名が代表して、府議会議場で参加をしました。

はじめに、アイスブレイクとして簡単なゲームをおこない、初対面の人どうしの緊張を解きほぐしました。次に参加者全体で「学校に校則は必要か？」というテーマで、意見交流をおこないました。「みんなが同じ場で生活するには、一定のルールが必要だ。」や「中学生は最低限のマナーを守ることができるので、校則は必要ない。」などの意見が出ました。校則の必要性について、真剣に考える中学生の姿が印象的でした。

次にグループごとに「安心・安全な学校をつくるための3つの取り組み」を考え、発表しました。豊能町は岸和田市と寝屋川市の中学校と同じグループでした。事前にオンラインでの交流をおこなっていたので、グループ協議は和やかな雰囲気で行われました。始まってすぐに積極的にそれぞれの意見を交流し、豊能町からは「4つある取り組みのうち、2つの取り組みを合わせることで、3つにできるのではないか？」という提案もしました。2人とも堂々と発言しており、とても頼もしかったです。

最後に、府議会議場で参加した生徒全員で記念撮影をしました。この時には、緊張していた表情も達成感に満ち溢れた表情に変わっていました。参加した2人の生徒が、帰り道で「次はどんな活動ができるか」について話し合っていました。今回のサミットを通して知ったことや考えたことを、今後本校での生徒会活動に活かしてくれることでしょう。



府議会議場に到着



グループ協議



参加者全体で意見交流



参加者全員集合写真

とよのを知ろう とよのを学ぼう ⑨ 「とよの未来科」の実践始まる

「とよの未来科の視点をもったキャリア教育の取り組み」～吉川中学校～

吉川中学校では、「キャリア教育目標・めざす子ども像」を

- ① 温かく豊かな人間関係を結べる生徒。
- ② 自分に自信を持ち、他者を受け入れられる生徒。
- ③ 実体験を踏まえた多様な価値観を持ち、違いを認め合える生徒。

としています。今回は各学年「体験学習」の取り組みを紹介します。

1年生：「福祉体験」で他者を知る。体育館で車いす体験（10月25日実施）

「人権校外学習」で人のあり方を知る。人と防災センターなど見学（11月29日実施）

「キャリア学習に向けて」で地域の人に出会う。地域（とよの）で働く大人から直接学ぶ。（3学期予定）

2年生：「キャリア学習」では、各分野の企業活動を学ぶ。地域（とよの）での街頭アンケートを行う。（10月25日実施）

学習の成果を「キャリア学習発表会」で公開する。（12月8日実施）

3年生：「保育体験」地域（とよの）での異年齢の人との出会い。（11月9日実施）

「進路学習」で将来設計し「卒業に向けて」進路選択をする。（通年での取り組み）

また、①②の目標達成に向けて、自他を知り人間関係を築くコミュニケーション力の育成のため、山口スクールカウンセラーと一緒に全学年で「心理教室」の授業にも取り組んでいます。

子どもたちが、地域（とよの）とのつながりを自覚して生活していけるように、今後も継続して取り組んでいきます。



1年生：車いす体験



2年生：キャリア学習



3年生：保育体験

英語掲示版～エイミー先生作成～

エイミー先生が外国の文化等を紹介する英語掲示板を作成しています。今回は、クリスマスに関する情報を掲示していました。諸外国のクリスマスの様子、サンタさんとの一問一答、そして「クリスマスプレゼントにほしいものアンケート」など、立ち止まって読みたくなる楽しい内容でした。吉川小学校の皆さんは、プレゼントにまんがやゲームがほしい人が多いようです。次回の掲示は、どのような内容か楽しみです。エイミー先生、素敵な掲示板を作ってください、ありがとうございます。



エイミー先生、素敵な掲示板を作ってください、ありがとうございます。